

重点プロジェクト

金ケ崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点戦略を第十次総合発展計画の重点プロジェクトに位置付けました。

<h2>1 若者が暮らしたいまちを創る</h2>	<ul style="list-style-type: none"> ◆「日高見の国定住自立圏」を構成する奥州市、北上市、西和賀町と共同で、首都圏等において開催される移住定住フェアにブース出展 ◆住宅、雇用、出会い・交流、子育てといったライフステージの各場面における個別具体の施策の充実 ◆U・Iターンした若年者に若年者移住定住促進家賃補助 ◆金が咲き婚活協議会が実施する婚活事業への支援、県外から参加する女性に対する支援、結婚に伴う新生活に係る経費の支援 ◆フッ化物洗口の無料化を小学5年生まで拡大、18歳まで医療費無料化
<h2>2 女性にとって魅力的なまちを創る</h2>	<ul style="list-style-type: none"> ◆トラガール育成補助金を準中型免許まで対象を拡大 ◆認可外保育所やファミリーサポートの利用料を一部助成 ◆子育て支援員の研修を実施し、保育施設等の人員確保を支援、新卒者や潜在保育士への就職支援助成や奨学金返還補助 ◆町立幼稚園の認定こども園への移行について検討 ◆特定不妊治療に対する助成
<h2>3 活力と特色のある地域を創る</h2>	<ul style="list-style-type: none"> ◆安全・安心な生活を送ることができる地域の構築について、地域毎の特徴・意向を踏まえつつ、補完性の原則に沿った暮らしやすい地域を地域住民や関係団体と検討 ◆スポーツ交流人口の拡大 ◆スポーツ合宿誘致促進事業補助金制度の継続と誘致の促進 ◆園芸作物生産に取り組みやすい環境の整備 ◆一般国道4号4車線化を見据えた沿線開発を検討

新規事業

平成30年度の新規事業と予算額を紹介します。

事業名	内容	予算額
田園バス購入事業	田園バスの更新	650万円
介護人材確保推進事業	奨学金返還補助、介護職員就職支援助成金	110万円
子ども・子育て支援事業計画策定事業	ニーズ調査業務委託等	461万円

事業名	内容	予算額
保育士確保対策事業	保育士確保のための補助など	203万円
(株)いわちく出資	豚処理施設整備に係る増資	1,042万円

教育行政方針



「まちづくりは人づくり」を柱とした、「第十次総合発展計画」および「金ケ崎町教育振興基本計画」実施の3年目となり、「豊かな心を育てるまち」を目指し、更なる発展に向けて始動します。

生涯を通じて学びあう人づくりの推進

1 生涯教育環境の充実 ▶生涯教育の推進方策等について検討 ▶社会教育関係職員の資質向上 ▶「かねがさき生涯学習人財バンク」を広く周知し、町民の学習活動への活用を図る ▶町民の多様なニーズに対応した学習機会を提供できるよう生涯学習環境の整備充実に取り組む ▶出前講座の実施 ▶「家庭教育宣言」運動「地域子育て宣言」運動の実施 ▶「たくましいかねがさき子育て推進大会」を開催 ▶子どもを取り巻くメディア環境等の実態把握 ▶中学生海外研修の実施 ▶地域社会の担い手支援 ▶町民大学を開設 ▶地域での健康づくり事業や生きがいづくり事業の実施 ▶青少年劇場を開催 ▶町民芸術文化祭の支援 ▶地域における芸術文化活動の推進 ▶第10回町民劇場を開催

2 読書活動の推進と資料の活用 ▶図書館機能の充実と親しみを持って利用できる図書館経営 ▶資料整備および読書活動の拡充 ▶子どもの読書活動の推進 ▶エミリー・ディキンソンに関する情報や解説をホームページ等に掲載し資料活用を促進

歴史を伝え活かす人づくりの推進

1 文化財の保存と活用 ▶文化財の調査と保護 ▶太陽光発電等の開発行為からの史跡の保護や埋蔵文化財の調査等、地権者の理解を求め、法に基づき必要な措置を実施 ▶文化財保護団体の支援 ▶国指定史跡鳥海柵跡の整備基本計画を策定や原添下区域南東部の調査を実施 ▶鳥海柵跡や安倍氏の学習会やシンポジウム、企画展の開催 ▶城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区の環境整備、修理や修景などの支援、情報発信に努める ▶金ケ崎要害歴史館での展示を通じ国指定史跡南部領伊達領境塚の歴史的価値を紹介 ▶金ケ崎要害歴史館を学校のふるさと教育につながる施設として充実、企画展の開催

2 郷土文化の継承 ▶記念館等の公開を通じ子どもたちへ学習機会を提供 ▶旧陸軍省軍馬補充部六原支隊官舎の保存計画策定、整備活用の検討 ▶千田正記念館を先人顕彰施設と奥州街道のお休み処として、地域と連携しながら活用 ▶無形民俗文化財団体への支援

未来を担う次世代を育成する学校教育の推進

1 幼児教育の充実 ▶保護者との情報交換、地域行事への参加、研究会や交流による家庭・地域・保育園・小学校との連携 ▶幼児期にふさわしい総合的で多様な遊びの体験を通じ、心身の調和のとれた発達を図る ▶幼保小接続期カリキュラムの実践 ▶町立幼稚園の在り方や認定こども園について検討

2 教育内容の充実 ▶明確な目標を年度ごとに設定し、その達成に向けて組織的に取り組む目標達成型の学校経営を推進 ▶各校のコミュニティ・スクールの取り組みを総括し、地域とともに歩む学校づくり ▶いじめを許さない風土づくり ▶教員の指導力を向上 ▶知・徳・体のバランスのとれた人間形成をめざした授業改善 ▶県が推進する「希望郷いわて 元気・体力アップ60運動」と健康教育の推進 ▶防災教育、安全教育の推進

3 英語教育の推進 ▶4人の英語指導員、英語指導助手による充実した英語活動を継続 ▶町独自のカリキュラムによる英語活動を継続 ▶英語検定の検定料の補助 ▶町の幼保小中高の英語教育を一貫したものとなるよう推進

4 特別支援教育の推進 ▶特別支援員等を配置し、支援体制を充実 ▶「就学支援ファイル」を利用した支援の質の向上 ▶「ことばの教室」への通級指導等、就学前教育における支援 ▶支援員配置や教材教具の充実、専門性の向上を図る

5 ふるさと教育の推進 ▶要害歴史館や鳥海柵跡などの施設や史跡を利用した学習の推進 ▶伝統文化に触れる機会の提供 ▶社会科学習の充実 ▶子どもはげまし制度在り方について検討 ▶「金ケ崎町食材100%の日」や「弁当の日」など食育の取り組みの推進

スポーツに親しむ人づくりの推進

▶町民がスポーツに親しむ機会提供 ▶ニュースポーツの普及 ▶子どもから高齢者まで生涯を通じた三世スポーツ交流を実施 ▶スポーツ合宿誘致促進事業補助金制度の継続 ▶金ケ崎マラソン等各種大会の開催 ▶スポーツ関係団体への支援 ▶指導者の人材育成